

# －1 年次科目－

## < 1 > 1 年次共通履修科目（1 年次で全員が履修する科目）

国語総合（現代文）、国語総合（古典）、地理A、数学Ⅰ、生物基礎、体育、保健、英語表現Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ、家庭基礎、社会と情報、産業社会と人間

### 教科 [ 国 語 ]

科目名	国語総合（現代文）			略称	国語総現	学習指導要領 の科目名	国語総合
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目の内容	教科書の教材を中心に文章を読み味わい、言語の読解力・表現力の基礎を身に付ける。						
	1 学期	4 月	随想…文章を読むことに親しむ。				
		5～6 月	小説…文学的な文章を読み、情景や心情を味わう。				
		6～7 月	評論…論理的な文章を読み、思考力と論理的表現力を身に付ける。				
2 学期	9～10 月	韻文…詩・短歌・俳句を鑑賞し、ことばに対する感受性を豊かにする。					
	10～11 月	さまざまな分野の文章…読解力のバックボーンとなる教養を身に付ける。					
	11～12 月	評論…論理的な文章を読み、思考力と論理的表現力を高める。					
3 学期	1～2 月	小説…文学史上重要な作品を読み味わい、文学に親しむ。					
	2～3 月	目的に応じた文章の書き方、場面に応じた適切な話し方の工夫を学ぶ。					
履修対象							
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、校内実力テスト、長期休業中課題を加味して総合的に評価する。※通年の評価は古典と合算し、「国語総合」（4 単位）として行う。						
教材	教科書「国語総合」（教育出版）、副教材「国語便覧」・「日本文学史」、「高校漢字問題集」、プリント類						
諸経費	長期休業中課題 500 円（予定）（積立金より支出）						
備考	長期休業中には課題あり。（ワークブック、読書等）						

科目名	国語総合（古典）			略称	国語総古	学習指導要領 の科目名	国語総合
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目の内容	教科書の教材を中心に古典（古文・漢文）に親しみ、豊かな感性を身に付ける。						
	1 学期	古物語・説話…平易な古文を読み、古文に親しむ。古典文法の基礎を学ぶ。 漢故事成語…平易な漢文を読み、漢文に親しむ。漢文訓読の基礎を学ぶ。					
	2 学期	古随筆…文学史上重要な作品を読み、古人の感覚・思想に触れる。 漢中国古代の史話…史伝を読み、古代中国の歴史・文化に触れる。					
	3 学期	古物語・日記…文学史上重要な作品を読み、古文に対する親しみを深める。古典文法の知識を定着させ、読解力を高める。 漢唐代の詩文…唐代の作品を鑑賞し、詩や文の形式・表現について学ぶ。					
履修対象							
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、校内実力テスト、長期休業中課題を加味して総合的に評価する。※通年の評価は現代文と合算し、「国語総合」（4単位）として行う。						
教材	教科書「国語総合」（教育出版）、副教材「国語便覧」・「日本文学史」・「古典文法」、プリント類						
諸経費	長期休業中のワークブック 500円（予定）（積立金より支出）						
備考	長期休業中には課題あり。（夏季…ワークブック 冬季…百人一首暗唱→テスト、百人一首大会あり）						

## 教科 [ 地理歴史 ]

科目名	地理A			略称	地理A	学習指導要領 の科目名	地理A
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目の内容	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境・国家間の結びつき、消費社会の多様化</li> <li>読図の方法（縮尺・等高線の読み方、記号など）</li> <li>地形や気候環境（世界の気候区分）と人々の暮らしの関係</li> </ul>					
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国々の文化的共通性や特異性</li> <li>対象地域：アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アングロ・ラテンアメリカ、オセアニア</li> </ul>					
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題に関する地理的考察</li> <li>自然災害の事例と取り組み</li> <li>地域調査の方法</li> </ul>					
履修対象							
評価方法	定期考査、小テスト、発表、授業への取り組み等を総合的に評価する。						
教材	教科書「新編地理A」（二宮書店）「新詳高等地図」（帝国書院）、資料集、プリント等						
諸経費							
備考							

## 教科 [ 数 学 ]

科目名	数学 I			略称	数学 I	学習指導要領 の科目名	数学 I
単位数	3	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	習熟度別クラス編成での講義						
科目の 内容	1 学期	* 方程式と不等式 式の計算・実数・1次不等式・集合と命題 * 2次関数 2次関数とグラフ (関数とグラフ、2次関数のグラフ)					
	2 学期	* 2次関数 2次関数とグラフ (2次関数のグラフ) 2次関数の値の変化 (2次関数の最大・最小、2次関数の決定) 2次不等式 (2次関数のグラフとx軸の位置関係、2次不等式) * 図形と計量 三角比 (三角比・三角比の相互関係)					
	3 学期	* 図形と計量 三角比 (三角比の拡張) 正弦定理と余弦定理 三角形の面積 * データの分析					
履修対象							
評価方法	定期考査中心で、課題やノート等の提出状況も加味して評価する						
教材	教科書「高等学校 数学 I」数研出版 問題集「4プロセス 数学 I」						
諸経費							
備考							

## 教科 [ 理 科 ]

科目名	生物基礎			略称	生物基礎	学習指導要領 の科目名	生物基礎
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目の 内容	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の多様性と共通性、細胞とエネルギー</li> <li>・ 遺伝現象と遺伝子、遺伝情報の複製と分配</li> <li>・ 遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>					
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体液とその働き、生体防御</li> <li>・ 体内環境の維持のしくみ</li> <li>・ 生物の多様性とバイオーム</li> <li>・ バイオームの形成過程と分布</li> </ul>					
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生態系</li> <li>・ 生態系のバランスと保全</li> </ul>					
履修対象							
評価方法	定期考査を中心に、授業への参加意欲・授業態度・提出物などを総合的にみて評価する。						
教材	教科書「生物基礎」(第一学習社)、資料集						

諸経費	
備考	

**教科 [ 保健体育 ]**

科目名	体育			略称	体育 1	学習指導要領 の科目名	体育
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業を原則とする。						
科目 の 内 容	1 学期	・班を分けて男女別の一斉指導で行う。 <b>【学習内容】</b> 男子 陸上・水泳・バレー 女子 バスケ・陸上・水泳					
	2 学期	・班を分けて男女別の一斉指導で行う。 <b>【学習内容】</b> 男子 陸上・バレー・水泳・柔道・持久走 女子 陸上・水泳・ダンス・バスケ・持久走					
	3 学期	・班を分けて男女別の一斉指導で行う。 <b>【学習内容】</b> 男子 柔道・持久走 女子 ダンス・持久走					
評価方法	定期考査なし。出席状況を主とし、実技記録、活動点、筆記記録、実技テストなどを総合的に評価する。(見学は欠席と同じように減点される。)						
教材	副教材「ステップアップ 高校スポーツ」(大修館書店)、プリント等						
諸経費							
備考	出席時数・活動時数の足りない種目があると科目の修得ができない。 状況に応じて種目の学習時期が変更になることがある。						

科目名	保健			略称	保健 1	学習指導要領 の科目名	保健
単位数	1	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目 の 内 容	1 学期	<b>【目標】</b> 健康の考え方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物などの誘惑から自分を守る方策を身に付ける。 <b>【学習内容】</b> 「現代社会と健康について」を集団講義、ビデオ等で学習する。					
	2 学期	<b>【目標】</b> ・健康の考え方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物などの誘惑から自分を守る方策を身に付ける。 ・青年期から壮年期の健康管理が生涯を通してできるようにする。 <b>【学習内容】</b> 「現代社会と健康について」「生涯に通じる健康」を集団講義、ビデオ等で学習する。					
	3 学期	<b>【目標】</b> ・青年期から壮年期の健康管理が生涯を通してできるようにする。 <b>【学習内容】</b> ・「生涯に通じる健康」を集団講義、ビデオ等で学習する。					
評価方法	定期考査 出席状況とノート・課題の提出状況を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書「最新高等保健体育」(大修館書店)、プリント他						

諸経費	
備考	必修科目 2 年次以降で代替科目はない。

## 教科 [ 外国語 ]

科目名	コミュニケーション英語 I			略称	コ I	学習指導要領の 科目名	コミュニケーション英語 I
単位数	3	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	習熟度別クラス編成による 2 クラス 3 展開授業						
科目 の 内 容	1 学期	L1 Greeting around the World L2 Is Our Food Culture Strange ? L3 Miyazato Ai- Her Challenge for Her Dream L4 Sleep in Animals					
	2 学期	L5 Kawaii and Japanese Pop Culture L6 Ogasawara A Laboratory of Evolution L7 Furoshiki-The Magic Cloth L8 The Emerald Isle					
	3 学期	L9 The Power to Unite People L10 Knut, the Polar Bear					
評価方法	定期考査 定期考査を主とし、小テスト、提出物などの平常の活動状況を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書「Power On」(東京書籍) 他に副教材あり						
諸経費							
備考							

科目名	英語表現 I			略称	英 I	学習指導要領の 科目名	英語表現 I
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	習熟度別クラス編成による 1 クラス 2 展開授業						
科目 の 内 容	1 学期	L 1 A new school year begins. ～ L 7 Summer is here ! 時制、副詞節、it の用法など					
	2 学期	L 8 What' new ? ～ L 1 5 I'll take this. 現在完了形、動名詞、to 不定詞の用法など					
	3 学期	L 1 6 Let's eat out. ～ L 20 Are you ready for the exam ? 疑問詞 + to 不定詞、関係代名詞 (副詞)、仮定法など					
評価方法	定期考査と平常の活動に対する取り組み状況を総合的に評価する。						
教材	教科書「Grove」(文英堂) 他に副教材あり						
諸経費							
備考							

## 教科 [ 家庭 ]

科目名	家庭基礎			略称	家庭基礎	学習指導要領 の科目名	家庭基礎
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	1クラス2展開の少人数班別授業						
科目の内容	1クラスを10月中旬交替で 前半内容→後半内容／後半内容→前半内容 の2種類で展開する						
	1学期	4月～6月	衣生活をつくる (実技課題: エプロンの製作)				
		6月～7月	食生活をつくる (実技課題: 調理実習) 夏期休業中の課題として ホームプロジェクトを行う				
	2学期	9月～10月	食生活をつくる (実技課題: 調理実習)				
	10月	家族とかかわって生きる (家族と法律)					
	11月	子どもとかかわって生きる (保育)					
	12月	高齢者とかかわって生きる					
3学期	1月	社会とかかわって生きる (福祉)					
	2月～3月	消費行動を考える (家庭経済)					
評価方法	・定期考査を行う (年3回) ・出席状況、授業への取り組み、課題の提出、夏休みのホームプロジェクト ・定期考査の結果 を総合的に評価する。						
教材	教科書「家庭基礎21」(実教出版) その他副教材						
諸経費	実習教材費 年間2000円						
備考	学校家庭クラブ活動を通じて、学校外での活動や交流の機会を設ける ホームプロジェクトでは、家庭生活の課題に取り組み実践レポートを作成する						

## 教科 [ 情報 ]

科目名	社会と情報			略称	社情	学習指導要領 の科目名	社会と情報
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列	情報・サイエンス		
授業形態	クラス単位の一斉授業						
科目の内容	正しく情報機器を使いこなし、情報を効果的に伝え、情報社会について考え、情報社会のしくみを知る。ワープロ、表計算、プレゼンテーション等の各ソフトウェアの基本的な操作方法を学ぶ。						
	1学期	情報機器を使いこなす ・コンピュータを活用するための基礎的な技能の習得(タッチメソッド等の習得) 情報を整理して伝える(1) ・ネットワークの活用 ・情報の検索と収集・判断・表現・処理・編集する。 ・文書作成・表計算ソフトの基礎					
	2学期	情報社会の課題について考える ・表計算ソフトの応用 ・ネットワーク利用の心構え(情報の保護、セキュリティ、著作権、情報の信憑性など) ・情報の統合的な処理とコンピュータの活用 ・情報機器の発達と生活の変化					
	3学期	情報を整理して伝える(2) ・プレゼンテーションソフトの基礎 ・プレゼンテーションソフトの応用 ・Webページの利用					

評価方法	実習テスト 出席状況、課題提出状況、平常活動等を加味して総合的に評価する。
教材	教科書「見てわかる社会と情報」(日本文教出版) ソフト: Word、Excel、PowerPoint 他
諸経費	なし
備考	

## 教科 [ 総合 ]

科目名	産業社会と人間			略称	産社1	学習指導要領 の科目名	産業社会と人間
単位数	2	科目の種類	必修	関連系列			
授業形態	学年全体の一斉講義、クラス単位の T.T.授業による一斉授業、グループ活動						
科目 の 内 容	【目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「自己」、「自己と他者とのかかわり」、「自己と社会とのかかわり」、「社会のしくみ」について考え、自分自身の在り方生き方を探求する。</li> <li>● 職業や勤労について考え、将来の職業を含めて自分自身の目標に向かって、主体的に進路選択をする意欲と態度を身につける。</li> <li>● 2年生になるにあたって、より詳しく進路についての理解を深める。</li> </ul>					
	1 学期	4月:「授業ガイダンス」「自己理解」 5月:「レディネステスト」「職業調べ・理解」 6・7月:「系列・科目の理解・進路について考える」 8月:「夏季体験活動」					
	2 学期	9月:「夏季体験活動報告」「卒業生講話」 10月:「授業ガイダンス」「履修相談・履修計画」 11月:「職業理解(職場インタビューに向けて)」 12月:「職業インタビュー発表」					
	3 学期	1月:「これまでの成果を踏まえて将来を考えよう」 2月:「先輩たちの話を聞きこれからのプランを立てる」 3月:「プラン発表」					
履修対象							
評価方法	定期考査なし 出席状況、授業への取り組み、課題の提出等を総合的に評価する。 評価の観点 「積極性」「自己理解」「自己啓発」「自己実現」「振り返り」						
教材	「産業社会と人間 テキスト・ノート」(校内作成)、「つばさハンドブック」(校内作成) 他						
諸経費	校外活動交通費(活動内容、行先により異なる)						
備考	体験的学習活動中心(講話聴講、実習、見学、調査研究、意見発表、討論)						



## < 2 > 1年次選択科目（各自が選択して履修する科目）

### ①芸術選択科目（必履修）

各自が次の芸術4科目のうちから1科目を選択する

#### 教科 [ 芸術 ]

科目名	音楽 I			略称	音楽 I	学習指導要領 の科目名	音楽 I
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列			
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目 の 内 容	1 学 期	歌唱・楽典を行う 歌唱は、校歌やポピュラーソング、合唱曲に取り組む 楽典は中学校の復習事項から始め、音楽の基礎について習得する					
	2 学 期	鑑賞・器楽（ギター）・創作を行う 鑑賞ではミュージカルについて学習し、様々な作品に触れる 器楽（ギター）は独奏とギターアンサンブルに取り組む 創作は言葉による作曲を行う					
	3 学 期	歌唱を行う 歌唱は合唱コンクールにおいて生徒主体の活動が出来るよう混声合唱曲に取り組む					
履修対象							
評価方法	実技試験を中心とするが、1学期末には筆記試験も実施する。また、鑑賞等のレポートの提出や授業態度、出欠状況も加味し、総合的に評価する。						
教材	教科書「Tutti」音楽1（教育出版）ワーク「高校生のための音楽研究ノート」（教育芸術社）						
諸経費	実費		備考				

科目名	美術 I			略称	美術 I	学習指導要領 の科目名	美術 I
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	美術・デザイン		
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目 の 内 容	1 学 期	形や色といった美術の基本的要素の扱い方を学び、個性的な表現力の向上を図る。自分が思い描く作品にするために、試行錯誤をくりかえし、それが完成の喜びにつながるような授業を目指す。 ①色面構成（幾何図形の組合せによる表現で、色彩・構成の基礎を学ぶ） ②風景水彩画（透明水彩技法によって、空間・光を表現する）					
	2 学 期	③石膏鉛筆デッサン（石膏半面像を題材にデッサンの基礎を学ぶ）					
	3 学 期	④コラージュ（雑誌など素材の貼り付けによって、表現の多様性を学ぶ）					
履修対象	2年次に美術専門科目「ビジュアルデザイン I」、「絵画 I」、「素描 I」を受講希望の者は、履修すること。						
評価方法	完成作品の評価に、制作過程、出席率等の評価を加えて行う。						
教材	教科書「高校美術 I」（日本文教出版）アクリルガッシュセット						
諸経費	上記画材費用として 5,000 円（積立金より支出）						
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して制作に打ち込み、必ず作品を完成させる必要があります。</li> <li>・課題ごとにプレゼンテーション（自分の作品についての口頭発表）を含めた講評を行う予定です。</li> </ul>						

・課題内容は都合により変更することがあります。							
科目名	工芸 I			略称	工芸 I	学習指導要領 の科目名	工芸 I
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列			
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目の 内容	1 学期	ペーパークラフト（紙による立体造形） ケント紙に切込みを入れ、折ることで飛び出す立体表現を制作					
	2 学期	革工芸（コースターの制作） 皮革を使ったオリジナルコースターの制作 七宝焼きによる基礎制作 基本技法による七宝焼きの基礎					
	3 学期	金属工芸（紙による鋳造） 紙で作る鋳型メタルで小物を製作					
履修対象							
評価方法	提出作品をはじめ出席状況や制作過程、完成度などを総合的に評価。						
教材	教科書「高等学校工芸 I」（日本文教出版）						
諸経費	5,000 円（積立金より支出）						
備考	※陶芸は含まれません。 ・課題内容は都合により変更することがあります。 ・集中して制作に打ち込み、必ず作品を完成させる必要があります。 ・課題ごとにプレゼンテーション（自分の作品についての口頭発表）を含めた講評を行う予定です。						

科目名	書道 I			略称	書道 I	学習指導要領 の科目名	書道 I
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列			
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目の 内容	1 学期	① 基本的な筆づかいを学ぶ。 ② 漢字の書の創作をする。					
	2 学期	① 古典を手本としてさまざまな表現のしかたを学ぶ。 ② 刻字（板に文字を彫ること）の作品を制作する。 ③ 漢字と仮名の調和のさせ方を学ぶ。					
	3 学期	① 文字の配置のしかたを学ぶ。 ② 漢字仮名交じりの書の創作をする。					
履修対象							
評価方法	定期考査については未定 出席状況や提出作品の制作過程、完成度などを元に総合的に評価する。						
教材	教科書「書 1」（光村図書）						
諸経費	5,000 円（積立金より支出）						
備考	① 太筆・細筆は生徒自身が用意する。 ② 半紙・墨液は積立金でまとめて購入する。 ③ 授業で制作した作品を文化祭で展示する。						

②自由選択科目 各自が次の6科目のうちから1科目を選択する

教科 [ 数学 ]

科目名	数学A			略称	数学A	学習指導要領 の科目名	数学A
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列			
授業形態	講義						
科目 の 内容	1学期	＊整数の性質 約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用					
	2学期	＊場合の数と確率 集合の要素の個数 場合の数（和の法則・積の法則、順列、組合せ） ＊確率（事象と確率、確率とその基本性質、独立な試行と確率）					
	3学期	＊確率（反復試行の確率、複雑な試行の確率、条件付き確率） ＊図形の性質 平面図形 空間図形					
履修対象	医歯薬看護及び理工系への進学を考えている人						
評価方法	定期考査中心で、課題やノート等の提出状況も加味して評価する						
教材	教科書「高等学校 数学A」（数研出版）、問題集「4プロセス 数学A」（数研出版）						
諸経費				備考			

## 教科 [ 保健体育 ]

科目名	スポーツ専攻初級			略称	スポ専初	学習指導要領 の科目名	*学校設定科目
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	スポーツ・福祉		
授業形態	科目選択者による種目選択授業						
科目 の 内 容	1 学期	<p>【目標】・種目を選択し、より高度な技能の習得を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習計画が徐々に立てられるようにする。</li> <li>・スポーツ大会等の行事の計画立案ができるようにする。</li> </ul> <p>【学習内容】</p> <p>2～3種目の中から1種目を選び学習する。</p>					
	2 学期	<p>【目標】・1学期に選択した種目をより深く学習し、技能の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月より新たな種目を選択し、より高度な技能の習得を図る。</li> <li>・練習計画が立てられるようにする。</li> <li>・スポーツ大会等の行事の計画立案ができるようにする。</li> </ul> <p>【学習内容】</p> <p>1学期に選択した種目を学習する。</p> <p>10月より2～3種目から1種目を選び、学習する。</p>					
	3 学期	<p>【目標】・2学期10月より選択した種目をより深く学習し、技能の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習計画が立てられるようにし実践に備える。</li> </ul> <p>【学習内容】・2学期10月より選択した種目を継続して学習する。</p>					
履修対象	体育系進路希望者や運動部で活動する者、幅広くスポーツを積極的に学ぶ意欲のある者。						
評価方法	定期考査なし 出席状況、技能の向上、記録、種目への取り組みなどを総合的に評価する。						
教材	副教材「ステップアップ 高校スポーツ」(大修館書店)						
諸経費	なし			備考			

教科 [ 美術 ]

科目名	絵画初級			略称	絵画初級	学習指導要領 の科目名	絵画
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	美術・デザイン		
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目 の 内 容	1学期	油絵の用具材料の取り扱い、描き方の基礎から学習し、油絵表現を通じてものの見方・ 感じ方を広げることをねらいとする。年間3枚程度の油絵をじっくりと描く。 ① 静物画（一つの物を描く）					
	2学期	② 静物画（複数の物を描く）					
	3学期	③ 人物画（モデルを描く）					
履修対象	美術系大学・美術系専門学校希望者対象。油絵を描くことに強い意欲のある者も受講可能。 2年次に「絵画Ⅰ」の受講を希望する者は、必ず履修すること。						
評価方法	完成作品の評価に、制作過程、出席率、レポート等の評価を加えて行う。						
教材	油絵道具セット、F10～12号キャンバス						
諸経費	上記教材費として15,000円程度。既に持っている生徒は油絵道具セットを、新たに購入する 必要はありませんので相談ください。						
備考	なくなった絵の具や油などは各自で買い足す必要があります。エプロン、つなぎ、ジャージ など汚れても良い服装が必要です。 課題内容は都合により変更することがあります。						

教科 [ 美術 ]

科目名	デザイン初級			略称	デザイン初	学習指導要領 の科目名	構成
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	美術・デザイン		
授業形態	科目選択者による一斉授業						
科目 の 内 容	1学期	デザインの基礎を学び、用具の取り扱いや色彩表現の基礎を身に付け、ものの見方や捉 え方を学ぶ。 ① 形態描写（鉛筆素描）					
	2学期	② 平面デザイン（色彩構成）					
	3学期	③ 立体デザイン（立体構成）					
履修対象	美術系大学・美術系専門学校希望者対象。デザイン全般に強い意欲のある者も受講可能。 2年次に「ビジュアルデザインⅠ」「クラフトデザインⅠ」などデザイン系の講座を受講希望 の者は、履修することが望ましい。						
評価方法	完成作品の評価に、制作過程、出席率、レポート等の評価を加えて行う。						
教材	アクリルガッシュセット						
諸経費	上記教材費として5,000円程度。「美術Ⅰ」でアクリルガッシュセットを既に持っている生徒 は、新たに購入する必要はありませんので相談ください。						
備考	なくなった絵の具等は各自で買い足す必要があります。課題によりエプロン、ジャージ等の						

汚れても良い服装が必要です。※課題内容は都合により若干変更される場合があります。

## 教科 [ 福祉 ]

科目名	社会福祉基礎 X			略称	社福基 X	学習指導要領 の科目名	社会福祉基礎
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	スポーツ・福祉		
授業形態	社会福祉に関わる基礎的なことについて科目選択者による一斉授業で学習を進める。						
科目 の 内 容	1 学期	4・5月	福祉の職業	5月	現代社会と社会福祉		
		6月	社会福祉の理念と意義	7月	社会福祉の歩み		
	2 学期	9月	社会福祉の歩み	10月	福祉分野の現状と課題		
		11・12月	障がい者・高齢者理解				
	3 学期	1月	障がい者・高齢者理解				
		2・3月	社会福祉の担い手と福祉社会への展望				
履修対象	<p>将来の進路に保育や福祉を考えている生徒。2・3学年で保育や福祉に関わる科目を選択したい生徒はそれぞれの基礎科目となります。1学年の「社会福祉基礎 X」2・3学年合同授業の「社会福祉基礎 Y」は同一内容で実施します。授業内で、手話や点字の基礎を学習し、手話検定5級の取得を目指します。特に2学年で「生活支援技術 A」を選択する予定の生徒は、移動支援の学習を行うため、1学年または2学年で「社会福祉基礎 X または Y」を選択し、社会福祉に関わる基礎を学習することが望ましい。また、医療・看護系の進路希望者で福祉にも関心がある生徒は、1学年で「数学 A」を優先し2・3学年で「社会福祉基礎 Y」を選択するとよい。</p>						
評価方法	<p>定期考査（年3回 期末考査あり） 出席状況・授業への取り組み（1割）、課題の提出（2割）定期考査・検定（7割）などを総合的に評価する。</p>						
教材	教科書「社会福祉基礎」（中央法規）						
諸経費	5,000 円程度						
備考							

## 教科 [ 工業 ]

科目名	工業技術基礎X			略称	工業技X	学習指導要領 の科目名	工業技術基礎
単位数	2	科目の種類	選択	関連系列	生産・テクノロジー、情報・サイエンス		
授業形態	科目選択者による一斉授業（1講座15名以内）・TT授業						
科目の内容	1学期	<p>機械・電気に関する分野について、製作実習をおこない、工業技術、ものづくりに必要な基礎・基本について年間を通して学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習、実験に重点を置き、体験的学習から技術や知識を学ぶ。</li> <li>(ア)工作機械（ボール盤、レーザー加工機など）や計測・実験機器・工具などの操作や取り扱い方などの基本を学び、作品製作をおこなう。</li> </ul>					
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり、作品製作および図面の読み描きや報告書の書き方などを学ぶ。</li> <li>(イ)機械製図の基礎とCADの初歩</li> <li>○ 手仕上げなど加工の基本</li> </ul>					
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ウ)レーザー加工機による作品製作</li> <li>(エ)電気実験および計測実習</li> <li>○ 電子回路の工作と製作実習</li> </ul>					
履修対象	工業関係（機械・電気）に関心のある者						
評価方法	定期考査なし 製作した作品や報告書および平常の授業態度を総合的に判断し評価する。						
教材	教科書「工業技術基礎」（実教出版）、独自テキスト						
備考	作業服の購入を推奨						